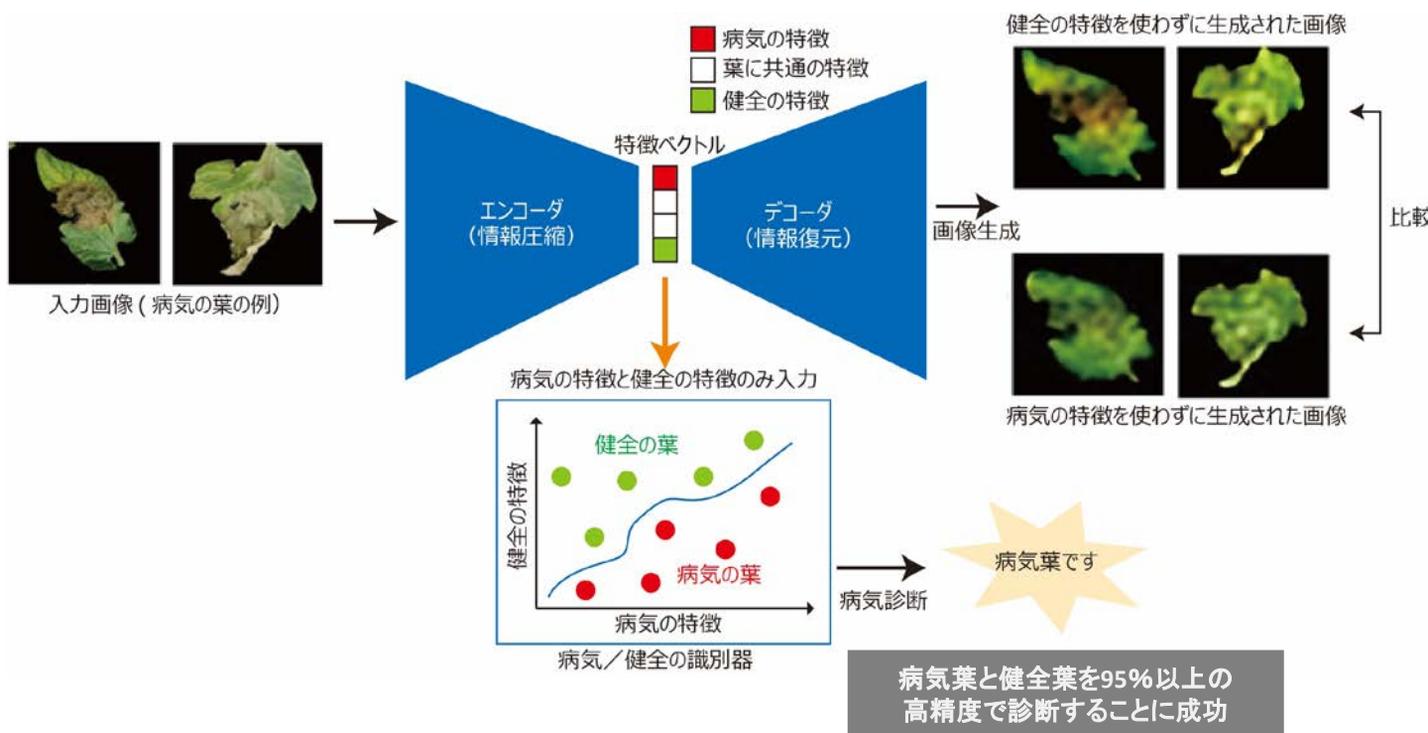


判断の根拠を説明できるAIを開発 —生産者も納得の病害診断に活用—

- これまで困難だった、AIモデルの判断根拠を可視化する技術を開発。
- この技術をジャガイモ・ピーマン・トマトの葉画像を用いる病害診断に適用したところ病気葉と健全葉をいずれも95%以上の高精度で診断することに成功。
- 農業分野にとどまらず、判断根拠の説明を必要とするさまざまな分野への活用が期待。



開発したAIの概念図

右側の生成された画像を比較することで、この例の場合、褐変・黄変・葉の表面の凹凸（凹凸があると影ができる）を病気葉の特徴として使用していることがわかる。

導入により期待される効果

AIによる判断の根拠を利用者も確認できることで、安心して利用できる。また判断根拠の可視化により、モデルの改良方針につながるとともに、分類の専門家の経験を可視化できる。さらに分類の専門家が気づかなかった分類基準の創出の可能性も期待される。